

## 令和2年度 専攻科入学試験問題及び解答用紙（学力）

建築・都市システム工学専攻 専門科目（建築計画）

受験番号

問1. 次の（ ）に下から選んで、適当な語句を記入しなさい。

- ①（ ）：東大寺南大門と同様の天竺様（大仏様）の代表建築。兵庫県小野市にある。
- ②（ ）：奈良時代には成立していたと考えられる出雲大社本殿の神社本殿様式。桁行き2間、梁間2間、切妻妻入、入口が一方に偏った古い平面形式をもつ。
- ③（ ）：鎌倉初期に栄西と道元によって禅宗が日本に伝来すると共に伝わった様式。円覚寺舍利殿がこの様式である。
- ④（ ）：栃木県日光市の日光東照宮本殿に代表される神社様式。
- ⑤（ ）：中世に作られた入母屋造りの住宅。古井家住宅と共に千年家と呼ばれる。
- ⑥（ ）：草庵風茶室の意匠を取り入れた建築。代表的なものは桂離宮である。

数寄屋造	和様	書院造	校倉造	権現造	小川家住宅	浄土寺淨土堂	首里城
法隆寺	大社造	禅宗様	寝殿造	春日造	姫路城	西本願寺	箱木家住宅

問2. 次の建築様式もしくは時代と最も関連がある建築物を下から選んで（ ）に記入しなさい。

- ①エジプト（ ） ②古代ギリシャ（ ）  
 ③ローマ（ ） ④初期キリスト教（ ）  
 ⑤ビザンチン（ ） ⑥ロマネスク（ ）  
 ⑦ゴシック（ ） ⑧ルネッサンス（ ）  
 ⑨新古典主義（ ） ⑩バロック・ロココ（ ）

サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂	パリ凱旋門	ハギア・ソフィア	ピサ大聖堂	ギザのピラミッド
パリのノートルダム大聖堂	サン・ピエトロ大聖堂	ヴェルサイユ宮殿	パンテオン	パルテノン神殿

問3. 次の文の（ ）に適当な語句を記入しなさい。

- ル・コルビュジエは（①）（②）  
 （③）らと共に20世紀のモダニズム建築を代表する巨匠である。  
 ル・コルビュジエが人体寸法と（④）をもとに考案した建造物の基準寸法体系のこと（⑤）という。ル・コルビュジエは実際に（⑥）を用いて数々の設計をおこなった。  
 1931年にパリ郊外に竣工した（⑦）邸はル・コルビュジエの主張する「近代建築の（⑧）」を典型的に示し、代表作として知られる。  
 （⑨）は、ル・コルビュジエが設計した集合住宅の名称で、マルセイユのものが最初の例である。託児所、保育園、店舗、郵便局、ホテルなどの各種公共施設が設けられた巨大なものであり、ル・コルビュジエが提唱した理想都市である（⑩）の実践であった。  
 （⑪）はアメリカを代表する建築家である。代表作は、滝の上にキャンティレバーで突出した水平線の美しい住宅（⑫）などがある。日本にも兵庫県芦屋市の山邑邸や、帝国ホテルなどの作品がある。  
 （⑬）はドイツの建築家。（⑭）と言う言葉で「無駄な部分をそぎ落としたデザイナーが、より豊かなデザインである」と主張した。1929年のバルセロナ万国博覧会で建設されたドイツ館（⑮）はモダニズムの代表作である。イリノイ州に週末別荘として建てられた（⑯）邸は、アメリカ亡命後の住宅作品で、ユネスコ世界遺産に登録されている。  
 （⑰）は（⑱）同様、モダニズムを代表するドイツの建築家であり、（⑲）の創立者である。著書「国際様式」で普遍性・国際性を主張し、インターナショナルスタイルが生まれた。

## 令2元年度 専攻科入学試験問題及び解答用紙（学力）

建築・都市システム工学専攻 専門科目（建築計画）

受験番号

## 問4. 建築計画に関する次の記述が示す適切な語句を（　　）に記入しなさい。

- (①) :生活道路において、車道を蛇行させるなどして自動車の速度を抑え、歩行者との共存を図った道路のこと。
- (②) :入居予定者が主体となって協同組合方式によって建築する集合住宅のこと。組合を設立し、共同して敷地の取得や建物の企画・設計、建築工事の発注等を行う。
- (③) :学校の運営方式のひとつで、小学校低学年に適した方式。学校生活における全ての学習活動をホームルームで行う方式であり、生徒の移動がほとんどない。
- (④) :図書館の出納方式のひとつで、閲覧者は希望の本を選び、係員に申し出て、出してもらう方式。
- (⑤) :都市部の周辺の市街化が無計画、無秩序に拡大していく現象のこと。
- (⑥) :イギリスのエベネザー・ハワードが1898年に発表した構想。1903年にレッチワースを建設し、その後のニュータウン政策に大きな影響を与えた。
- (⑦) :病院内で使用する物品の管理を一元化するために設けられる部門のこと。
- (⑧) :劇場の舞台と観客席が仕切られていない形式のこと。演者と観客の一体感が生まれやすい。
- (⑨) :既存の事務所ビル等を集合住宅等に用途変更・転用させる手法のこと。
- (⑩) :歩行者と自動車の導線分離を目的とした高架の歩廊のこと。

## 問5. 以下の文中の（　　）に、適切な語句を記入しなさい。

- 障がい者も健常者も分け隔てなく、普通に共存できる社会を目指していこうとする活動や施策のことを(①)という。
- ハンディキャップを持つ人にとっては、小さな段差などが障壁となり行動範囲を制限してしまうことがある。こうした物理的・心理的な障壁が取り除かれた状態を(②)という。
- 平成18年に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」通称(③)が法制化された。
- 上記の法律に、設けられている建築設計上の基準には、屋内の床の段差はスロープとし、勾配は(④)以下とするといったものがある。
- (⑤)は常時介護を必要としながら自宅では介護を受けることのできない高齢者を入所させて介護サービスを行う施設である。
- (⑥)は、高齢者が送迎バスなどを利用して通所し、食事・入浴・機能回復訓練などのサービスを受ける施設である。
- (⑦)は独立して生活するには不安のある高齢者を対象とした福祉施設である。